



信楽中学校校報

令和2年度 第10号

(令和2年10月13日発行)

「道 ～自分自身で切り開け～」(今年度生徒会スローガン)

～行事が多い2学期、メリハリをつけ、けじめのある落ち着いた生活を送ろう～

早いもので、10月となり、12日からは後期のスタートとなりました。

8月24日(3年生は8月18日)からスタートした2学期ですが、これまでに、すでに、第72回体育祭、第2回定期テスト、1年親子ひびきあい活動、3年校外学習等が終了し、今後、生徒会選挙や秋季総体(秋季交流会)、3年生進路三者懇談会、文化祭に向けた取り組みなど、いろんな行事に取り組んでいくことになります。

行事には、それぞれ、自分の果たすべき役割を自覚して責任感を持って取り組むとともに、みんなで取り組む楽しさを味わってほしいものです。そして、行事だけでなく、毎日の学習や学校でのやるべき活動にきちんと取り組み、メリハリの利いた、けじめのある生活を送る必要があります。

よく昔から中だるみの2学期といわれることがあります。たるんできたゴムと一緒に、長い時間たるみすぎると、もうゴムは元のようにもどきません。学校生活にも慣れてきて、年度当初にはできていたことが、自分の中の「まあこれぐらいはよいか」という甘い気持ちや安易な考え方によってできなくなっていることはありませんか。できなくなること、しないでいいことに慣れてしまうと、元に戻るには大きなエネルギーが必要となって大変です。自分の中のゴムが、ゆるんでいないか、ゆるんだままになっていないか、今一度、確認してみましよう。そして、あなた自身が胸を張れる、誇れる道を切り開いていきましょう。

◎学校生活の基礎・基本

- あいさつをしっかりとしよう
- 時間を守ろう
- 人の話をしっかりと聞こう
- 自分に与えられた責任を果たそう



第72回体育祭、伝統のバトンを引き継ぐ

平日午前中半日日程で開催しました今年の体育祭。学年別全校玉入れ、クラス対抗全員リレー、団別集団演技「やっちくれ」に取り組みました。わずか半日ではありましたが、団別活動には、3年生がリーダーシップを発揮してよく下級生をまとめ、当日は各団ともに、一番の発表を披露することができました。閉会式後には、今年も3年生リーダーの掛け声により、やっちくれアンコールにも取り組み、短い時間ではありましたが、楽しく充実した時間となりました。



(写真省略)

(写真省略)

盛り上がったクラス対抗全員リレー
先陣を切った赤団の演技 決まるポーズ 意外と入らない(玉入れ)

距離を取り、声を出さずに工夫を凝らした「やっちくれ」
優勝した黄団の演技 創造性豊かな演技と一体感

(写真省略)

(写真省略)

(写真省略)

国の学校教育活動・学習アシスタント事業始まる

国のコロナ対策の一環として、学校教育活動・学習アシスタント事業が始まりました。これを受け、本校にも2名の学習アシスタント(非常勤講師)の先生が配置されました。今週から勤務が始まっています。主に、授業のサポーターとして、英語や数学を中心に、教室に入り、机間巡視をする中で、生徒が理解しにくい所を個別にサポートすることのほか、校内での消毒作業等、安全な教育環境維持のための仕事にも取り組んでいただきます。

出口 文俊(でぐち ふみとし)先生

本校に現在も勤務中。出勤時間が、これまでより大幅に増え、教室を巡回しながら、学習のサポートに入ります。

西川 幸佑(にしかわ こうすけ)先生

現在大学院1年生。専門は保健体育。英語と保健体育の学習サポートに入ります。

3年生 秋の一日を楽しむ ～ナガシマ校外学習～

10月7日、3年生が修学旅行の代替行事である校外学習に行ってきました。台風の影響も心配されたのですが、この日は朝からさわやかな天気となり、ナガシマスパークランドでの秋の一日を存分に楽しみました。途中、先生たちを誘いに来て、ライドやお化け屋敷に先生と一緒に楽しむなど、ほほえましい光景もたくさんみられました。

開会式で、「この企画を実現した3年生の先生の気持ちに応える行動を!」「人ではなく、自分自身がルールとどう向き合おうとするのか」「自分なりの学ぶ素材を見つけること」の3つについて話しました。3年生の皆さん、達成できましたか。

